



SUPAIR | STRIKE3

取扱説明書

Fr Fr Jp De

SUPAIR
34 rue Adrastée - Parc Altaïs
74650 Annecy - Chavanod
FRANCE

RCS 387956790

Revision index: 12/06/2026

www.supair.com

45°54.024'N / 06°04.725'E

目次

始めに	3
スペック	4
サイズチャート	5
構成部品	6
ハーネス外観図	7
アクセサリーのセットアップ	8
レスキューのセットアップ	13
収納およびガジェット	19
ハーネスの調節	22
ハーネスの装着	25
交換部品	27
フライト中の挙動	28
フイイトの各段階	29
レスキューパラシュートを使う	30
トーイング	30
必須点検	30
保守	30
保証	32
免責事項	32
フライト装備	32
環境に対する責任	32
ストライク 3 用バンプエアプロテクション	33
事故が起きたら	34
整備履歴	35

始めに

この度は、ストライク3ハーネスをお選びいただき、誠にありがとうございます。皆様と同じ情熱を共有できることを大変嬉しく思います。

スップエアーは1984年以来、フリーフライト用具の設計、製造、販売を行ってきました。スップエアー製品をお選びいただくことで、40年以上にわたる専門知識、革新性、そしてお客様第一主義の恩恵を受けることができます。これは、継続的な改善と高品質な製品づくりという、私たちの理念でもあります。

以下に、機材の操作方法、安全設定、点検についてご説明するマニュアルを掲載しております。包括的で分かりやすく、そして読みやすい内容を目指して作成いたしましたので、ぜひご一読ください。

弊社ウェブサイト www.supair.com では、本製品に関する最新情報をご覧いただけます。ご不明な点がございましたら、お気軽に弊社の提携販売店までお問い合わせください。もちろん、スップエアーチーム一同、info@supair.com にていつでもご質問にお答えいたします。

皆様のフライトが安全で楽しいものとなることを心より願っております。

スップエアーチーム

スップエアーが提供する、情熱を共有するパラグライディングの世界へようこそ。

ストライク3は、軽量かつ高性能なフライトの世界へ足を踏み入れるのに最適なハーネスです！ストライク2とディライト5をベースに設計された本モデルは、ハイク&フライやクロスカントリーを楽しむパイロットを対象としています。そのため、パラグライダーの十分なトレーニングを積んだ経験豊富なパイロットに向けた製品となっています。快適性と軽量化を重視し、設計や素材の選定が行われました。

ストライク3ハーネスは、搭載重量、最大120 daN（約120kg）でEN 1651+A1およびLTF 91/09の認証を取得しています。また、指令89/686/EECに準拠したCE認証も取得しています。この製品は、欧州規格EN 1651+A1の衝撃保護要件を満たしており、欧州の安全基準に適合しています。

この取扱説明書をお読みになった後、初飛行の前にシミュレーターにつり下がりハーネスのテストを行うことをお勧めします。

ストライク3は軽量素材で設計されています。シューレースフックが付いたブーツやアイゼンは着用しないでください。スピードバッグに引っかかって破損したり、ラインやテープに絡まる可能性があります。

注意：この取扱説明書を読むにあたって、手助けとなる3つのアイコンがあります。



アドバイス

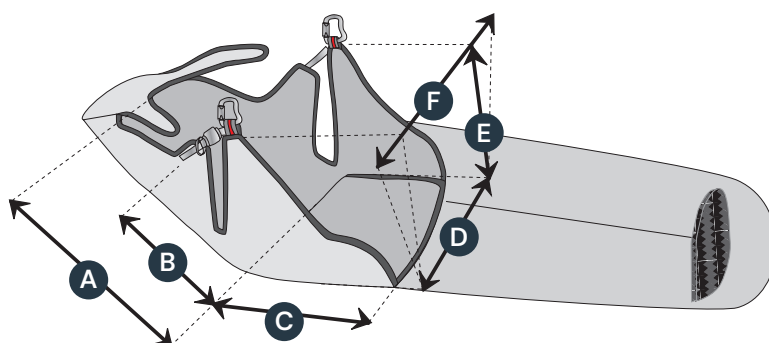


警告！



危険！！

スペック



ストライク 3		S	M	L
	ハーネス重量 (kg)	2.02 kg	2.15 kg	2.28 kg
	パイロット身長 (cm)	155 - 175 cm	170 - 185 cm	180 - 200 cm
	パイロット体重 (最小-最大) (kg)	50 - 70 kg	65 - 85 kg	75 - 120 kg
認証最大搭載重量		120 dNa (約 120 Kg)		
A	背もたれ高さ (cm)	60	66	72
B	リクライニング調節高さ (cm)	35	38	41
C	シート深さ (cm)	42	44	46
D	シート幅 (cm)	32	32	36
E	カラビナ高さ (cm)	47	47	48
F	カラビナ間距離 (cm)	43	43	45
背部ポケット容量		64L	68L	70L
シート下部収納ポケット容量		5.5L (1kg max)	5.5L (1kg max)	6.2L (1kg max)
	衝撃吸収システム	インフレータブルバンプエア		
使用目的		パラグライディングのみ		
認証		EN 1651+A1:2020 - LTF NfL II 91/09		
タンデム使用 (パイロットあるいはパッセンジャー)		否		
トーイング		可		
リリースカラビナ対応		否		
レスキューコンテナ容量 (L)		2L ~ 4.8 L		

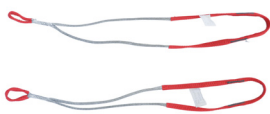
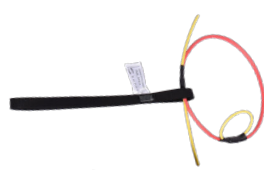
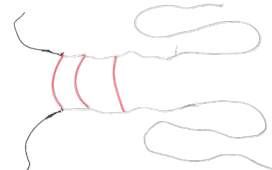
サイズチャート

	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.95	2.00
50	S									
55	S									
60	S									
65	S			S / M		M				
70	S			S / M		M				
75				M		M / L		L		
80				M		M / L		L		
85				M		M / L		L		
90						L				
95						L				
100						L				
105						L				
110						L				
115						L				
120						L				

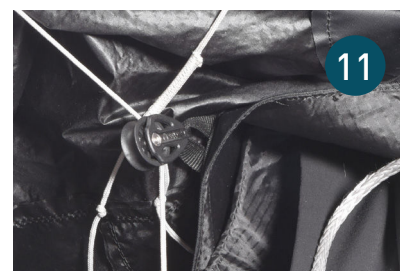
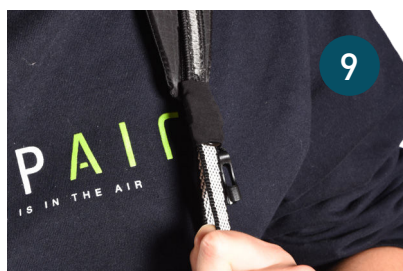
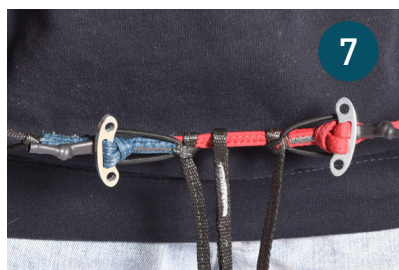
構成部品



1 ハーネス本体

			
2 ダイニーマ製レスキューブライダル	3 レスキュートグル	4 エーデルリッド AURAカラビナ	5 脱着可能背部補強プレート
			
6 カンガルーポケット	7 カーボンフットプレート	8 可変スピードバッグ用3段アクセル	9 カーボンシートプレート
			
10 ストライク3用バンプエア	収納バッグ	リペアキット	

ハーネス外観図



- | | |
|--------------|----------------------|
| ① ソフトコックピット | ⑦ チェストベルト調節 |
| ② レスキュートグル | ⑧ リクライニング角度調節 |
| ③ メインハングポイント | ⑨ 肩ベルト調節 |
| ④ サイド収納ポケット | ⑩ レスキューブライダル取り付けポイント |
| ⑤ 背部収納ポケット | ⑪ アクセルシステム用プーリー |
| ⑥ カンガルーポケット | ⑫ ストライク3用バンプエア |

アクセサリーのセットアップ

カラビナ

適応するカラビナ：
エーデルリッドオーラカラビナ
商品コード：MAILMOUSAURA

1

カラビナをメインテープに通します。



2

カラビナをスピードバッグに設けられた専用のスリットに通します。



←
飛行方向

フットプレート

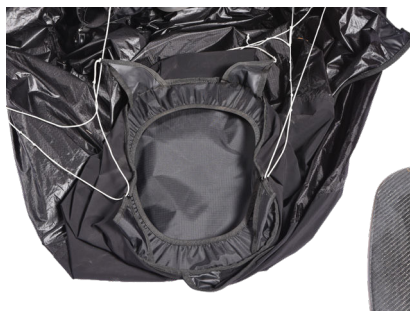


幅の広いほうを上側に、
狭いほうを下側にします。

適応するフットプレート：
カーボンフットプレート
商品コードS/M：MPPL010
商品コードL/XL：MPPL024

1

スピードバッグの先端を
折り返し、フットプレー
トのポケットにアクセス
します。



2

フットプレートの狭い
ほうが下になるように
ポケットに挿入します。



4

プレートの上部分をフラッ
プに差し込み、しっか
りと固定します。



シートプレート

ストライク3は、シートプレート有り、あるいは無しのどちらでも使用することが可能です。

シートプレート有りではより堅固な感覚と効率的な体重移動をもたらします。ハーネスからはより多くの情報が伝えられより正確になります。また通常の飛行形態から逸脱した際のコントロールは容易になります。シートプレートがあるとサイドからの圧迫がないのでより快適になります。

一方シートプレート無しでは座り心地がソフトになり、ハングポイントがわずかに上がります。従ってハーネスはよりニュートラルな感覚になり安定性が増

します。シートプレートが無いと腰回りのホールド感が増します。

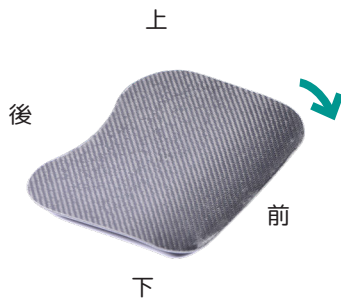
しかしながら通常の飛行携帯から逸脱した際は、シートプレートが提供してくれるサポートならびに正確さがいないため正確なブレークコントロールが必要になることに注意してください。

適応するシートプレート：

カーボンミニシートプレート

商品コードS / M : MPPL021

商品コードL / XL : MPPL025



1 シート下部のポケットのファスナーを開きます。



2 バンプエアポケットのファスナーを開きます。



3 中央のポケットを見つけ、ベルクロをはがします。



4 ポケットにシートを挿入します。



5 ベルクロを貼り付け、ファスナーを閉めます。



背部補強プレート

- 1 背部収納ポケットのファスナーを開け、背部補強プレート用のポケットを見つけます。



- 2 補強プレート用ポケットのファスナーを開きます。



- 3 ポケットに補強プレートを挿入し2つのファスナーを閉めます。



取り外し可能な背部補強プレートを外せば、よりアクティブな用途に対応できます。そうすることでハーネスが軽量かつコンパクトになり、パッキングもしやすくなります。

インフレーターバンプエア

適応するプロテクション： ス
トライク3専用バンプエア
商品コード： MPPP061

ストライク3は専用のバンプエアを装着して使用しなければなりません。



チューブがねじれたり折れ曲がったりしていないことを確認してください。

1 シート下部のポケットのファスナーを開きます。



2 バンプエア用のポケットのファスナーを開きます。



3 ポケットの後ろからチューブを引き出します。



4 ポケットにバンプエアを挿入します。



5 ポケットのファスナーを閉めます。



6 チューブをハーネスの右サイドにあるゴムループに通します。



7 次に、右肩にある専用のチューブ通しにチューブを通します。



8 次に、右の肩ベルトにある2つ目のチューブ通しにチューブを通します。

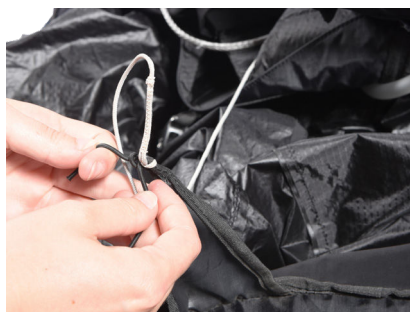


アクセセル

適応するアクセセル：
可変スピードバッグ用3段アクセセル
商品コード：ACCEL3B

1

固定用ゴム紐をフットプレート下部のループに通し、結び目を作り固定します。



1B

反対側も同様にします。取り付け状態を確認してください。



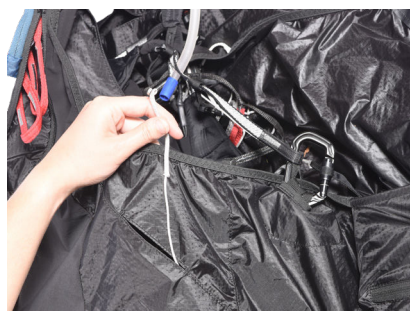
2

アクセセルロープを、ハーネスの側面にあるプーリーに通します。その際、アクセセルロープを他のロープやテープよりハーネスの内側に保つてください。



3

スピードバッグの側面パネルにあるスリットからコードを引き出してください



4

ロープ先端にブルンメルフックを取り付けて、グライダーのアクセセルシステムに接続できるようにします。フックを使わずにヒバリ結びを使用しても構いません。



アクセセルロープをスライドさせて加速をシミュレートし、アクセセルシステムが正しく機能していることを確認してください。



警告：アクセセルロープの長さが短かすぎないか確認してください。大変危険です。アクセセルを作動しない状態でアクセセルロープにテンションがかかるようではロープは短すぎます。

レスキューのセットアップ



以下の説明を注意深くお読みください。最初のレスキューの収納は、その方法を熟知している専門家によって行われるように忠告します。レスキューのハーネスへの収納はこの取扱説明書の指示通りに行ってください。それ以外の方法に起因する事象に対しての責任は負いかねます。

レスキューパラシュートの大きさはパッキング方法により異なります。我々はスップエアーのパラシュートでコンテナサイズを確認しています。他のパラシュートも対応すると考えられますがシステム全体が正しく機能するかの確認はご自身で行って下さい。

レスキューコンテナの特徴

- 容量は2～4.8L
- スップエアーのシャイン、フルードライトエヴォ、X-ライトに適合するほか他のソコ用 レスキューにも適合します

ストライク3 S,M およびLサイズ			
適合する レスキュー	S	M	L
シャイン	Yes	Yes	Yes
フルードライト エヴォ	Yes	Yes	No
X-ライト80-95-110	Yes	Yes	Yes

インナーコンテナにトグルを取り付ける

1

レスキューパラシュートは、ストライク3専用のトグルを使用して取り付ける必要があります。組み立てができるよう、トグルとレスキューパラシュートを並べて準備してください。



2

トグルをインナーコンテナのサイドにある取り付けループに通します。



3 ヒバリ結びで取り付けます。



4 結び目を締め上げます。



5 レスキューパラシュートをハーネスに組み込まれているコンテナーに挿入する準備が整いました。



ハーネスにブライダルを接続する

1

左肩上部にあるブライダルガイドスリーブのファスナーを開けると、レスキューブライダル取り付けループにアクセスできます。



2

レスキューブライダルの大きいほうのループをレスキューブライダル取り付けループに通します。



3

レスキューブライダルの小さいほうのループに大きいほうのループを通してヒバリ結びとします。



4

結び目を締め上げ、反対側も同様にします。



5

レスキューブライダルの最終位置が下の図のような格好になっていることを確認してください。



結び目がしっかりと締められていることを確認してください。



✓



✗

レスキューパラシュートとレスキューブライダルを接続する

- 1 レスキューライザーをレスキューブライダルのループに通す。



- 2 レスキューパラシュートをレスキューライザーに通す。



- 3 結び目を締め上げる。



レスキューをハーネスのコンテナーに収納する

! 以下の説明を注意深くお読みください！最初のレスキューの収納は、その方法を熟知している専門家によって行われるように忠告します。

レスキューのパッキングおよびハーネスへの収納はこの取扱説明書の指示通りに行ってください。そうしない場合に対する責任は負いかねます。



レスキューコンテナーの最適化：収納後レスキューパラシュートがしっかりと固定され、ポケット内でねじれないように、レスキューパラシュートのパッキング容量に合わせて収納する場所を選択します。

2 - 3.9 L: 小さいほうのポケット

4 - 4.8 L: 大きいほうのポケット

適切なサイズのポケットを使用することで、ハーネスを保管する際、ポケット内でパラシュートがねじれるのを防ぐことができます。



- 2 レスキューパラシュートをポケットに収納します。トグルのヒバリ結びが自分に向いていることを確認します。



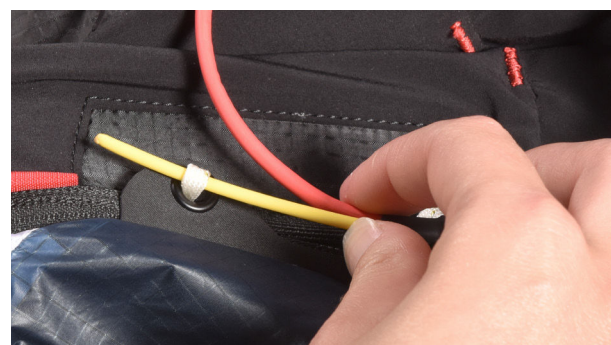
- 3 肩から伸びているブライダルスリーブファスナーのスライダーをファスナーの端まで移動します。トグルだけがコンテナから出ているようにします。



- 4 スライダーをファスナーの中央あたりまでスライドします。



- 5 白色のループを対応するハトメに通し、そのループに左側の黄色いケーブルを差し込みます。



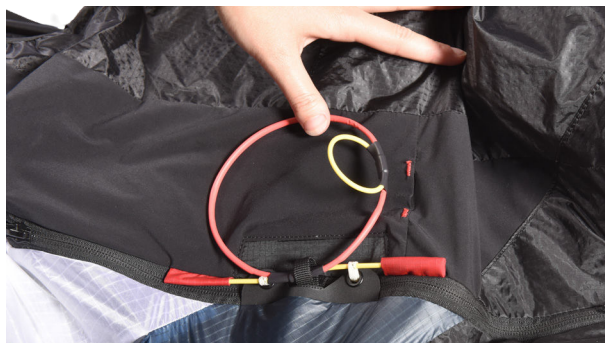
- 6 左側のケーブルを、赤いポケットの奥まで確実に差し込みます。トグルのテープはコンテナにしまい込んでください。



- 7 右側のファスナーを閉めます。



- 8 右側のケーブルも同様に作業し、ケーブルが赤いポケットの奥まで差し込まれていることを確認します。



- 9 黄色のケーブルの輪をそのために設けられたスリットに差し込みます。



- 10 最終的な設置状況が下図のようになっていることを確認してください。



レスキュー引き出しテストは必須



シミュレーターにぶら下がり、少なくとも1回の引き出し試験を実施して、組み込みが正しく行われたかを確認してください。

判断に迷う場合は、専門家に組み込み状態を点検してもらってください。パラシュートのパッキング容量は変化する可能性があるため、実際に引き出しテストを行い、パラシュートポケットが正常に機能することを確認してください。このテストは6ヶ月ごとに実施する必要があります。

注：ここでの「引き出しテスト」は、レスキューパラシュートを実際に展開することを意味するものではありません。パラシュートはインナーコンテナに収納された状態のまま引き出されることを確認します。

収納およびガジェット

1 背部収納ポケット



2 ソフトコックピット



3 カンガルーポケット



4 アクセサリー用安全クリップ+無線ケーブル取り出し口を装備する左サイド小ポケット



5 左シート下部に尿排出用チューブスリット

コンパクトなたたみ方

- 1 背部を下にしてハーネスを置きます。



- 2 スピードバッグをたたみ込みます。



- 3 スピードバッグのサイドをたたみます。



- 4 背部収納ポケットを開きます。



- 5 テールフィンをポケットに収納します。



- 6 全体を圧縮します。



- 7 収納バッグにハーネスを収めます。



- 8 バッグ上端のロールトップを巻いて締めます。



ハーネスの調節



重要：初めてフライトする前にシミュレーターにぶら下がってハーネスの調節をすることを推奨します。

1 チェストベルトの長さ調節



2 肩ベルトの長さ調節



3 リクライニング角度調節



4 スピードバッグの調節



ハーネスの調節

リクライニング角度調節

- 締めるとより背中が起きた状態になります。
- 緩めるとよりリクライニングした状態になります。



締める



緩める

肩ベルトの調節



締める



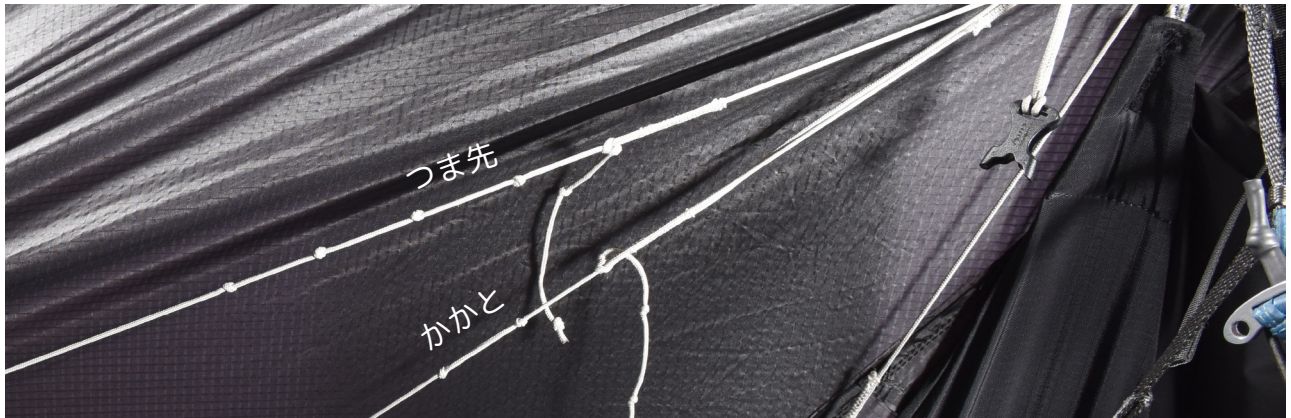
緩める



肩ベルトの長さを調節するには調節用のバックルを使用します。

肩ベルトにかかるプレッシャーはフライト中の快適さに大きく影響します。適切な長さに調節することが重要で、長すぎても短すぎてもいけません。きつくならず、かつ上体を心地よくサポートするように調節してください。

スピードバッグの調節



1 両足をまっすぐ伸ばし、シートにしっかりと座り込みフライトの姿勢を取ります。膝が伸び切らない程度に足がまっすぐなるようにかかと側のロープを調節します。

2 しっくりくるようにつま先側のロープを調節します。

i ベルトの長さが短すぎたり長すぎたりしたら、接続位置を動かします。



ハーネスが前傾している場合：

- スピードバッグの長さ調節ロープが長すぎる
- 肩ベルトの長さが短すぎる

正しく設定出来たら、設定が変わらないように接続部分をきつく締めあげて固定します。

ハーネスが後傾している場合：

- スピードバッグの長さ調節ロープが短すぎる
- 肩ベルトの長さが長すぎる

ハーネスとグライダーの接続

ライザーがツイストしないようにハーネスのカラビナに取り付けます。

ライザーの向きが正しいか確認します：Aライザーがフライト方向の前側に来る様に（右図参照）。

最後にカラビナが確実に締められているか確認します。



アクセルの接続

アクセルを12ページの説明にしたがってセットアップします。

アクセル側のブルンメルフックとライザー側のブルンメルフックを締結します。

アクセルが接続されたら、パイロットの体形に合わせてアクセルロープの長さを正しく調節します。



アクセルをフリーにしたときにアクセルロープにテンションがかかっていない様にアクセルロープの長さを調節してください。



ハーネスの装着

- 1 両肩ベルトに腕を通します。



- 2 チェストベルト左側の金属製のピンを同色のループに通します。



- 3 安全ゴムループを金属製ピンにかぶせて固定します。



- 4 右側も同様にします。



- 5 チェストベルトの取り付け状態が、下図と一致していることを確認します。



- 6 チェストベルトに付いている赤い落下防止用ループに、左のカラビナ近くの黒いアルミ製バーを通します。



- 7 スピードバッグのクリップを締結します。



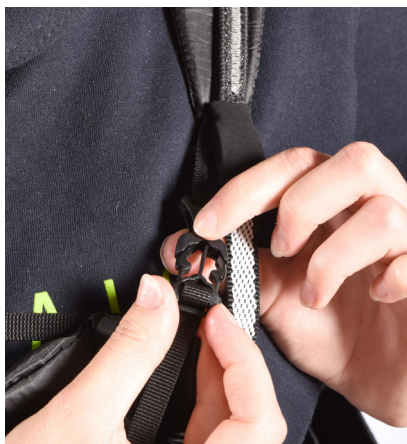
- 8 黒いアルミ製のコックピットバーを、赤い落下防止用ループに通してください。



- 9 肩ベルト脱落防止ベルトを締結します。



- 10 コックピット両側のクリップを肩ベルトについているメスバックルと締結します。



- 11 これで安全にフライトする準備が整いました。



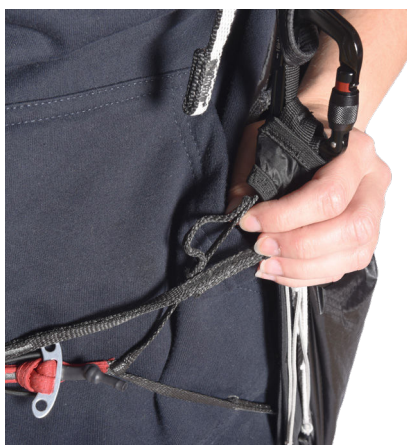
離陸前には必ず、すべての締結部が確実に締結されていることを確認してください。

不明な点がある場合は、手順を最初からやり直してください。

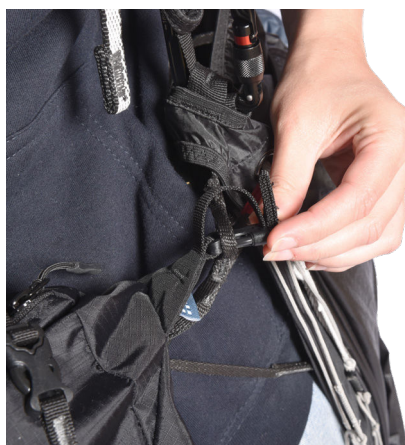
カンガルーポケットの取り付け

カンガルーポケットの取り付けは、前掲ハーネスの装着のステップ6とステップ7の間で行います。

- 1 チェストベルトに設けられたループを確認します。



- 2 カンガルーポケットについているクリップをそのループに通してクリップを締結します。



- 3 反対側も同様にします。



交換部品

カーボンシートプレート

商品コード：S/Mサイズ: MPPL021,
Lサイズ: MPPL025



カーボンフットプレート

商品コード：S/Mサイズ: MPPL010
Lサイズ: MPPL024



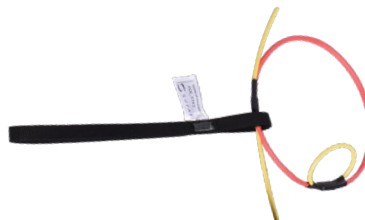
オーラカラビナ

商品コード：MAILMOUSAURA



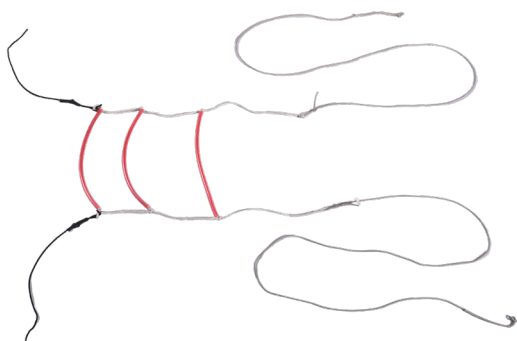
レスキュートグル

商品コード：POISTK3



スピードバッグ用3段アクセル2

商品コード：ACCEL3BSTD23B



ストライク 3用バンプエア

商品コード：MPPPO61



フライト中の挙動

ストライク3の離陸時の大きな特徴は、あらゆる動きを伝えてしまうシートボードを使用しない軽量構造が生み出す、完全な動きの自由度です。単なる軽量ハーネスの枠を超え、フリーフライトのあらゆる場面で優れた性能を発揮する、真のオールラウンドなギアと言えます。

その真価は、極めて高い汎用性にあります。テクニカルなハイク&フライに対応する超コンパクトさを備えつつ、クロスカントリー飛行も十分にこなす性能を誇り、最適化された収納サイズと優れた耐久性により、ビバークフライトの理想的なパートナーとなります。山頂を目指す場合であれ、長距離記録に挑む場合であれ、その日のミッションに一切の妥協なく対応します。

安全性も効率性を高めるよう再設計されました。背面にレスキューパラシュートを配置した新しいフレームとクイックリリース・バックルの採用により、強い緊張下や、厳しいテイクオフからの離陸であっても、装着が容易になっています。

新しいハーネスのあらゆる特性を把握するために、最初のフライトは、慣れ親しんだエリアで、穏やかな気象条件のもとで行うことをお勧めします。



フライトの各段階

プレフライトチェック



- ハーネス及びカラビナが損傷していないかチェック。
- レスキューパラシュートのトグルのケーブルがレスキューコンテナのフラップを閉めるループに通されていることを注意深くチェック。
- 自分に合ったセッティングが変わっていないかチェック。
- 全てのファスナーおよびバックルが正しく閉められているかチェック。
- アクセルが正しく調整されグライダーに接続されているかチェック。
- レスキュートグルにラインや他の障害物が絡んでいないかチェック。
- カラビナがグライダーとハーネスを正しく締結し、ゲートが確実に閉まっているかチェック。

テイクオフ



離陸前には必ず、本書25ページに記載されている手順に従って、正しくハーネスを装着していることを確認してください。
もし不安な点があれば、手順を最初からやり直してください。



- 離陸したらすぐに座らずに立った姿勢を保ち、斜面から十分離れてからスピードバッグに足を入れハーネスに収まるようにしてください。
- 斜面近くではブレークトグルを離さないように。
- スピードバッグに足を入れハーネスに収まる際に間違えてアクセルを踏み込まないように注意してください。リーディングエッジが潰れる危険性があります。

空中



空中においてストライク3の挙動は直感的で安定しています。

カラビナ間距離は気象条件に合わせ、グライダーメーカーのガイドラインに沿って調節してください。

アクセルの使用



グライダーが潰れるリスクが増大するのでアクセルの使用は十分注意して行う必要があります。アクセル使用に関するさらなる情報を得るためにグライダーの取扱説明書を参照してください。アクセルの使用は、乱気流に対して、より敏感になるので、大気が安定している条件で斜面から離れた状況でのみ使用してください。アクセルバーを通してアクセルロープのテンションが減少したと感じたら、すぐにアクセルを戻し、僅かにブレークを当ててください。そうすることで潰れるリスクを軽減することが出来ます。



アクセルを使用するには、一方のかかとで1段目のアクセルバーを捉え、踏み込みます。その後もう片方の足を添えて安定させるか、2段目のバーに足をかけさらに加速します。さらなる加速には3段目バーを踏みこみます。アクセルバーの踏み込みは左右均等になるようにします。アクセルを戻すには、加速した時と反対に踏み込んだ足をゆっくりと緩めてアクセルバーから足を離します。

ランディング



ランディングアプローチに際しては、十分余裕を持ってスピードバッグから両足を出しておきます。その後、立ち上がった姿勢に移行し、ランディングと共に必要に応じて走り出せるようにします。

ランディングアプローチに際しては常に、気象コンディション並びにランディング場所に合わせて十分高度に余裕を持って行ってください。ランディングアプローチに入ったら急激あるいは過激な操作をしないように注意してください。

常にハーネスから腰を出し立った姿勢を取り、必要ならば着地と同時に走り出せるように準備して、風に正対して着地します。ファイナルアプローチに入ったら気象コンディションに合わせて出来るだけ速度を速く保ちます。地面が近づいてきたらブレークを漸進的に引下げ、最後に着地するときには目一杯引き下げます。

ブレークを引き下げるのが早すぎたり急激すぎたりすると、急上昇したり失速したりして大変危険です。タイミングには十分気を付けてください。

強風時でのランディングに際しては、着地と同時に体を半ひねりしグライダーに向き、ブレークを左右均等に引きながらグライダーの方向へ近寄ります。着座姿勢のままランディングしないこと、大変危険です。

レスキューパラシュートを使う

レスキューパラシュートを投げる



フライト中レスキュートグルの位置を頻繁に確認することを推奨します。そのために、意識しなくてもトグルを掴めるようになるよう定期的にレスキュートグルを掴む動作を繰り返すことを推奨します。目で見なくてもレスキュートグルをつかめる様にすることが肝要です。そうすることで緊急時にレスキューパラシュートを適切に引き出すことが可能になります。

緊急時には、対地高度を適切に判断して下さい。対地高度が十分にあるならばグライダーを回復させる方が良いことがあります。しかし高度がグライダーを回復させるほど十分でない、あるいは判断がつかない場合には、速やかにレスキューパラシュートを引き出して下さい。



レスキューパラシュートの開傘は、絶対に必要な場合にのみ行ってください。

力強くレスキュートグルをサイド方向に引き、レスキューをコンテナから取り出し、レスキュー全体（インナーコンテナとトグル）を出来るだけ障害物のない空域へ向けて力強く放り投げます。

パラシュートが開傘したらすぐに、ライザー（CまたはD）あるいはブレークを出来るだけ左右対称に引き込んでグライダーを手繰り寄せます（万が一、パラシュートが開傘しなかった場合は、レスキューブライダルを掴み力強く引き込んでください。そうすることでパラシュートの開傘を促すことが出来ます）。

膝をくっつけ、足を僅かに曲げ、立ち姿勢でランディングに備えます。着地と同時に斜めに転がり衝撃を和らげます。

レスキューを外側へ20～45度の角度で引き出すと最適になります。0～20度あるいは45～60度の範囲では引き出しにより多くの力が必要になります。

レスキューを投げる際には、着座姿勢になり脚をハーネスの下側に下ろし前傾姿勢を取ります。

安全のために定期的にシミュレーターにぶら下がり訓練することを推奨します。

トーイング

トーイングによるスタートには、専用のリリースを取り付けなければなりません。

リリースメーカーの指示に従って、ハーネスのカラビナ取り付け位置にリリースを接続します。

トーイングに際しては、安全のため必ず専門の資格を持ったオペレーターの下で実施してください。

必須点検

6か月ごとの点検



- レスキューパラシュートの引き出し検査（トグルを引き、レスキューがコンテナから正常に引き出せるか）。
- ハーネス全体の状態の検査。

1年ごとの点検



レスキューパラシュートの開傘および専門家によるレスキューパラシュートのリパック（パラシュートメーカーのリパックスケジュールが決められていない場合）。

保守

保管および運搬

ハーネスを使用しないときは、パラグライダーザックに収納し、紫外線の当たらない乾燥した涼しい清潔な場所に保管してください。

ハーネスが湿っている場合には、保管する前に十分乾燥させてください。

ハーネスを運搬する時は、紫外線劣化や傷などが付かないようにバッグに入れて運搬するようにして下さい。また、湿ったままの状態での長時間の運搬は避けてください。

クリーニングおよび お手入れ

時々、ハーネスの汚れを洗い落とすのは良いことです。そのためには、中性洗剤を使い、ブラシで汚れを落とし、その後十分に水洗いして洗剤を落とします。いずれにせよ、ハーネスのテープ、縫製、生地などを傷めるので、漂白剤などの化学薬品あるいは溶剤などは決して使用しないようにして下さい。

ファスナーは、時々シリコンスプレーを使って滑りを良くしてください。

ハーネスを定期的に埃っぽい環境（ダート、砂など）で使用しているならば、定期的にカラビナおよびバックルの保守・点検をするように忠告します：中性洗剤で洗い、完璧に乾燥させてください。油は塗らないこと！

また、ハーネスを使用する前にカラビナおよびバックルが正しく機能しているかの確認を行ってください。

特に海沿いでハーネスを使用している場合は、より一層注意を払い、厳しく点検をしなければなりません。

素材

生地

- ナイロン 210D R/S 44 ロビック
- MJ38
- ドミニコ 10D

テープ

- ダイニーマ 4 / 7 / 12 mm
- ナイロン 10 mm
- ポリプロピレン 10mm

修理

ストライク3の製造には最高品質の素材が使用されていますが、通常の使用に伴いハーネスが経年劣化する可能性があります。

摩耗や損傷の兆候が見られる場合は、専門の認定施設に送付し、点検や修理を受けてください。



お見積もりをご希望の際は、お電話またはメール (sav@supair.com) にてお問い合わせください。

耐用年数



以下の項目を念頭に、2年ごとにハーネスの完全な点検を実施してください：

- テープ類（摩耗状態、裂け目があるか、悪影響のある折り目があるか）
- バックルおよびカラビナの状態（摩耗、クラック、正しく機能しているか）



ストライク3のテープや生地に使用されている繊維は、軽量性と耐久性の最適なバランスを確保できるよう選定・製織されています。しかし、長期間にわたる紫外線への曝露、激しい摩耗、化学物質への接触といった特定の条件下では、正規サービスセンターにてハーネスの点検を受けることが必須となります。あなたの安全は、この点検にかかっています。



ハーネスに使用されているカラビナは、パラグライディング以外（登山やトーイングなど）には絶対に使用しないでください。

カラビナは5年あるいは500時間使用したら交換することを推奨します。

改造禁止

当社製品は、厳格な安全基準および性能基準に基づいて設計、試験、認証されています。

スップエアー製品のいかなる改造、改変、またはパラグライディング以外への使用も固く禁じられています。

リサイクル

当社が使用する材料はすべて、優れた技術的特性と環境特性に基づいて厳選されています。当社の製品に使用される素材は、いずれも環境に有害なものではありません。ほとんどの構成素材はリサイクルが可能です。

お客様ご自身、または専門の修理センターがストライク3ハーネスの耐用年数が過ぎたと判断した場合は、金属部品とプラスチック部品をすべて分離し、お住まいの国で施行されている廃棄物分別規制に従ってください。繊維部品の回収とリサイクルに関しては、繊維製品の取り扱いを統括する団体にお問い合わせいただくことをお勧めします。

保証

スップエアー社は、製品の設計および製造において細心の注意を払っています。スップエアー社は、自社のパラグライディング製品に関して、通常の利用において生じた製造上の欠陥や設計上の不備に対し、2年間（購入日から）保証します。誤った使用や不適切な使用、損傷の原因となり得る過酷な環境（高温、強い直射日光、高湿度など）への過度な曝露、および必須の定期点検の不履行があった場合、本保証は無効となります。

スップエアー社の製品に何らかの改造が加えられた場合、保証は自動的に無効となります。

環境に対する責任

パラグライディングはアウトドアアクティビティです。プレーする環境を守る責任はあなたにあります。以下の点にご注意ください：

- 地域の動植物を尊重する
- 自然の中にゴミを捨てない
- 騒音を抑える

これらの行動を通して、地球とパラグライディングというスポーツの未来を守ることに貢献できます。

免責事項



パラグライディングは、専門技術、専門知識そして正しい判断を必要とするスポーツです。十分注意してください。認定されたスクールで練習し、適切な保険に加入し、フライトライセンスを取得し、あなたの技術が気象条件に適合しているかを確認してください。

スップエアー、ファルホークインターナショナル（有）および販売店は、あなたのパラグライディング活動および飛ぶ飛ばないの判断に対して責任は取ることはできません。全てあなた自身の責任となります。



このスップエアーの製品は、パラグライディング専用でデザインされています。スカイダイビングあるいはベースジャンピングのような他の活動に使用することは完全に禁止されています。

フライト装備

パラグライディングをするときに、パラグライディング用として認証を取得しているヘルメット、適切なブーツおよび服装を着用することは、あなたの安全にとって極めて重要です。また、あなたの体重にあったレスキューパラシュートを正しくハーネスに接続しておくことは必須です。

スップエアー製品群のすべてのアクセサリ、グライダー、レスキューパラシュート（タンデム用を除く）は、ストライク3ハーネスと互換性があります。詳細については、弊社ウェブサイト（www.supair.com）をご覧ください。

ストライク 3 用 バンプエアプロ テクション

あなたが購入されたハーネスはバンプエアによる衝撃吸収システムを採用しています。このプロテクションは、起こりうる衝撃に対してあなたを保護するもので、個人の保護具（PPE）に関するEU基準2016/425に準拠しており、CRITT-SPSL-00309/2021プロトコルによる専門家により認証されています。

ハーネスのプロテクションのCE認証は次の認証機関により実施されました：ALIENOR CERTIFICATION n° 2754, Z.A. du Sanital, 21 Rue Albert Einstein, 86100 Chatellerault, FRANCE

テストレポートとEU適合証明は、弊社のウェブサイト（www.supair.com/telechargements/）で入手できます。



如何なるハーネスのプロテクションも怪我に対して完全に防護してくれるものではないことを理解してください。特にバックプロテクションは背骨あるいは骨盤に起こりうる損傷を幾分和らげる程度です。またプロテクションでカバーされている体の一部にしか起こりうる衝撃に対しての吸収効果はありません。



警告：衝撃吸収システムのいかなる改造および間違った使用法はシステムの性能を危険となるほど損ない、それらの機能が正しく働かなくなることに注意してください。プロテクションは衝撃吸収する要素が存在しかつ正しく装着されていることが必須です。従って、各フライトの前に次のことを確認してください：

- ・バンプエアプロテクションが正しく適切に挿入されている
- ・バンプエアプロテクション縫製部分と構成要素の状態（穴、裂けめ、ほころび、変形など）



通常の使用状況下ではプロテクションの耐用年数は最大5年となっています。

警告！ 激しい衝撃を受けた場合には、すぐさまプロテクションを交換しなければならない可能性があります。

運搬

バンプエアの運搬と保守はハーネスに対するものと同様です。衝撃吸収プロテクションの点検もハーネスに対するものと同様です。バンプエアは圧縮された状態で保管して下さい。

点検及び修理

年に1回はプロテクションの点検をしてください。ショックアブソーバーが損傷している場合は、専門家に査定と修理を依頼するか、弊社まで（sav@supair.com）ご連絡ください。

消毒については、sav@supair.com までご連絡ください。

保管およびクリーニング

プロテクションは、乾燥して換気の良い場所で室温で保管してください。クリーニングに際しては清潔な水のみを使用してください。

ショックアブソーバーが損傷している場合は、専門業者に点検・修理を依頼するか、sav@supair.comまでご連絡ください。

試験報告書およびEU適合宣言書は、弊社ウェブサイト（www.supair.com/telechargements/）からダウンロードできます。

認証

- ・EU基準2016/425に準拠
- ・プロトコルSP-003 09/2021により専門家によって承認
- ・EU認証はホームページwww.supair.comで確認可能
- ・認証はALIENOR CERTIFICATION n° 2754 ZA DU SANTAL 86100 CHATELLERAULT Franceにより実施

個人の保護具（PPE）製造者：

SUPAIR s.a.s
Parc Altaïs, 34 rue Adrastée,
74650 CHAVANOD FRANCE
RCS Annecy 387956790
Tel: +33 4 50 45 75 29
www.supair.com

事故が起きたら

緊急電話番号

EUROPE / INDIA	112
USA / CANADA	911
CHINA / JAPAN	119
NEPAL	101
IRAN	112
AUSTRALIA	000
NEW ZEALAND	111

救助が必要?



フラッシュライトによるSOS信号



整備履歴

このページをあなたのハーネスの整備履歴を把握するために活用してください。

購入日付：	
購入者氏名：	
販売店名・印：	

☐ 点検 ☐ 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

☐ 点検 ☐ 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

☐ 点検 ☐ 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

☐ 点検 ☐ 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

 SUPAIR | STRIKE3
LIFE IS IN THE AIR



SUPAIR
34 rue Adrastée
Parc Altaïs
74650 Annecy - Chavanod
FRANCE

RCS 387956790

45°54.024'N / 06°04.725'E

輸入者 ファルホークインターナショナル有限公司
〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12
<https://www.falhawk.co.jp> Email: info@falhawk.co.jp

www.supair.com

Revision index: 12/06/2026